

京都 やましろ 旅のたより

6月
創刊号



編集・発行：京都府山城広域振興局商工観光室

〒611-0021 京都府宇治市宇治若森7-6

TEL 0774-21-2103

Email yamashin-no-shoko@mail.pref.kyoto.jp

メニュー

- P1 ごあいさつ
- P1~3 やましろミュージアムめぐり
平等院ミュージアム鳳翔館
- P3 商店街でちょっといっぱく
- P4 旬のイベント情報
振興局からのお知らせ

やましろから「旅のたより」をお届けします

京都府山城広域振興局長 奥原恒興

平成16年5月、京都府の地方機関の再編により、京都市より南の京都府域をエリアとする山城広域振興局が誕生しました。山城広域振興局が平成17年3月に策定した「山城地域振興計画」では、歴史と文化、自然あふれる山城地域の広域観光を推進していくこととしています。

魅力あふれる山城地域の観光情報を発信するため、この「旅のたより」を創刊しました。

やましろの歴史・文化・産業、見どころ、人、美味珍味、等々の情報を順次御紹介していく予定です。

さあ、御一緒に「やましろ発見の旅」に出かけましょう！

やましろミュージアムめぐり

平等院ミュージアム 鳳翔館

平等院は、「この世をば わが世とぞ思う 望月の かけたることも なしと思えば」と詠んだ藤原道長の別荘でしたが、永承7年(1052年)、道長の子である藤原頼通によって寺院として創建されました。平成6年には世界遺産にも登録されています。

ミュージアム「鳳翔館」(ほうしょうかん)は、平等院の文化財を展示・保存・修復することを目的として平成13年に開館されたもので、平等院の庭園の中にあり、平等院の拝観料で入館できます。

大部分が築山の中に埋設されるなど、庭園の景観に影響を与えないよう工夫が施された設計となっています。設計者は栗生明氏(千葉大学教授)で、氏はこの「鳳翔館」で芸術院賞・日本建築学会作品選奨等を受賞されています。

同館には、多くの国宝を初めとする平等院所蔵の文化財が展示されており、また「デジタル・アーカイブ」を紹介する3台のパソコンにより、超高精細画像で仏像や建築物の細部まで見ることができます。



鳳翔館の「雲中供養菩薩(うんちゅうくようぼさつ)」(本文を御参照下さい)

やましろミュージアムめぐり 平等院ミュージアム 鳳翔館

【学芸員さんにインタビュー】

「鳳翔館」の見どころについて、同館の学芸員 沢野直弥さんにお聞きしました。

「平等」という言葉は、比較的新しい言葉のような感じがしますが、昔からある言葉なのですね。

「平等は、元々は仏教用語です。仏の救済が平等ということの意味しています。」

鳳翔館の展示品は、どんなところに特色がありますか？

「平安時代の仏教彫刻、建築物が、一括して同じ建築空間の中で保存されているという点が重要です。」

鳳翔館の建築は、どんな特徴がありますか？

「建物全体が、仏教寺院や庭園と調和するように、という配慮の下に設計されています。
建物外観だけでなく、内部にも同じ事が言えます。
壁はほとんどコンクリートですが、全て木目が入っています。
他にも格子戸を多く使っているなど、日本建築との調和を狙っています。」

是非とも皆さんに見ていただきたい、お勧めの展示品は？

「やはり、雲中供養菩薩でしょう。是非、目の前で見ていただきたいと思います。」



平等院鳳凰堂

「雲中供養菩薩」とは

平等院・鳳凰堂の壁に、本尊阿弥陀如来坐像を囲むように配置されている52体の仏像。
仏師・定朝(じょうちょう)の工房が製作したもので、雲に乗って空を飛び、楽器を持ったり、舞ったり、合掌するなどの姿勢をとっています。鳳翔館では、この「雲中供養菩薩」に一室を割りあて、52体のうち26体を展示しています。鳳凰堂の壁の高い位置にある状態とは違い、細部まで見ることができます。

鳳翔館のミュージアム・ショップに「雲中トランプ」があります(雲中供養菩薩52体+鳳凰2体の54枚)

雲中供養菩薩は、なぜ52体なんですか？

「52という数字に、どういう意味があるのかは分かりません。もともと52体だったのかどうかも確かではありません。51体は国宝ですが、1体だけは国宝指定されていません。明治期の国宝指定で51体が国宝になった後、もう一体が発見された、と伝えられていますが、その後も今日まで国宝になっていません。」

本尊・阿弥陀如来坐像など多くの国宝の作者である仏師・定朝とはどんな人ですか？

「定朝は、寄せ木造りの手法を完成した仏師として知られています。
一本の木から削り出すのを一木(いちぼく)造りと言います。一木造りは、一人の職人が仏像を作るのには向いています。しかし、定朝の時代には、工房を組織して集団で仏像製作を行うようになっており、それぞれが分担して部分を作り、その後で全体を組み立てる、寄せ木造りの方法が用いられるようになりました。
定朝は僧侶の位を認められるなど、社会的にも高い評価を受けていました。」

その他の文化財でお勧めのものは？

「例えば、梵鐘は、三名鐘の一つとされ、複雑な装飾が施され『姿の平等院』と言われています。」

鳳翔館を来館される方に伝えたいことは、どういうことでしょうか？

「当時の人が夢見た極楽浄土の世界とはどのようなものであったかを実際に歩いて感じて欲しいです。」

【御案内】

- ・(所在地) 宇治市宇治蓮華116
(電話) 0774 - 21 - 2861
- ・入館料(平等院庭園と共通)
大人600円 中高生400円
小学生300円(団体割引あり)
- ・開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時45分まで)
平等院(庭園)は午前8時30分～午後5時30分
(入場は午後5時15分まで)
- ・阿弥陀如来坐像修理のため、平成17年8月末(予定)まで
鳳凰堂内部の拝観は停止しています。(鳳凰堂外観は通常
どおり拝観できます。)



鳳翔館のエンタランス
(突き当たりは「梵鐘」)

【交通アクセス】

JR奈良線「宇治」下車、徒歩10分
京阪電鉄宇治線「京阪宇治」下車、徒歩10分
その他の詳細は、平等院のホームページ(<http://www.byodoin.or.jp/>)を御覧ください。

ミュージアムめぐりの後は 商店街で ちょっといっぴく しましょう！

平等院の御近所の商店街を歩いてみましょう。



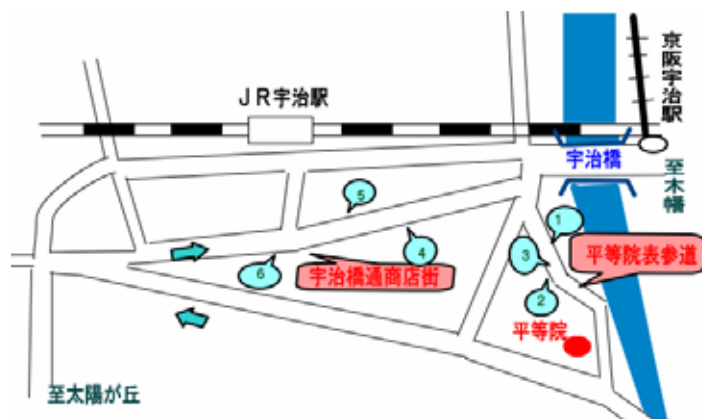
平等院表参道(平等院表参道商店会) (<http://www.joho-kyoto.or.jp/~b-hanei/>)
平等院門前の石畳の商店街です。お茶屋さん、和菓子屋さん他のお店が立ち並んでいます。

創業100年を超える老舗を表彰する、京都府の「京の老舗表彰」を受賞したお店を御紹介します。
能登椽稲房安兼(菓子)
泉園銘茶本舗(茶)
三星園上林三入本店(茶。2階に「宇治茶資料館」有り)

宇治橋通商店街振興組合 (<http://www.wao.or.jp/ujibashi/>)
宇治橋通り(府道宇治淀線)沿い、延長約770メートルの商店街。コミュニティ道路の整備計画があり、世界遺産にふさわしい商店街を目指しています。
NPOと連携して子育て広場「つむぎ」()を運営する等、まちづくりにも積極的に取り組んでいます。

宇治橋通商店街の
「京の老舗」受表彰企業
(有)上林春松本店
宇治・上林記念館
(<http://www.shunsho.co.jp/>)
(株)中村藤吉本店(茶。カフェ併設)
(<http://www.tokichi.jp>)

「京の老舗」受表彰企業の他にも、
いろいろなお店があります。
詳しくは商店街のホームページ等
をごらんください。



旬のイベント情報

6月1日～ 7月10日	あじさい園の公開とライトアップ (宇治市・三室戸寺)
6月12日	青葉祭り(大山崎町・宝積寺)
6月13日	お火たき祭(宇治田原町・猿丸神社)
6月16日	木津川のあゆ解禁
6月18日	宇治川の鵜飼(9月25日まで)
6月25, 26日	あじさいまつり(長岡京市・楊谷寺)
7月7日	木津町七夕まつり(木津町)
7月8日	三重塔(国宝)開扉(加茂町・浄瑠璃寺)

木津川のあゆ解禁

釣り人が待ちに待った木津川のあゆ解禁です。

緑豊かな流れの木津川に釣り糸を垂れて、自然のなかでゆったりとした時間を感じられるのはいかがですか？
(問い合わせ先)

木津川漁業協同組合事務所(平日のみ)

TEL 0774-86-5403 FAX 0774-86-5404

<http://www.kidugawa.com/>

大堀食堂(土、日、祝日)

TEL 07439-3-0534



やましろ 食と農の交流シンポジウム

～安心！安全！新鮮！安い！本当に？～

と き:平成17年6月23日(木)13:30～16:00

と ころ:文化パーク城陽(電話0774-55-1010)

内 容:直売所探検隊からの探検結果報告 他

お問い合わせは

京都府山城広域振興局 農林商工部 企画調整室

農業振興担当 電話 0774-21-3229 まで



あなたの「とっておきの やましろの旅」を教えてください

募集中!

「ディスカバーやましろ魅力の旅」 おすすめ観光モデルコース

山城広域振興局では、山城地域の魅力を再発見し、広域的な観光振興を推進していくため、観光モデルコースを広く募集します。

募集する観光モデルコースの条件

山城地域の魅力を再発見できるような観光コースで、次の条件をすべて満たすもの

- ・内容…有名な観光スポットだけでなく、隠れた観光スポットも探訪するもの
- ・日程…日帰り
- ・エリア…山城広域振興局管内の市町村内で、できる限り複数の市町村を巡るもの

募集締め切り

平成17年6月30日(木)

詳しくは、京都府山城広域振興局商工観光室

電話 0774-21-2103

FAX 0774-22-8865



この「ディスカバーやましろ魅力の旅」おすすめ観光モデルコースの募集要項は山城広域振興局のホームページの最新情報で御覧になれます。